

オンライン決済サービスのご案内 (EMV 3-Dセキュア)

Ver1.2



一般社団法人日本クレジット協会による「クレジットカード発行不正利用被害実態調査」によると、2022年のクレジットカード決済による不正利用被害額は436億700万円（前年比32.3%増）に達しており。被害額は過去最大となっています。

このような背景を受け、経済産業省はクレジットカードの不正利用防止に向けて2025年3月末までに国内すべてのEC加盟店において「EMV 3-Dセキュア」の導入を義務化する方針を定めています。

（参考：<https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230315001/20230315001.html>）

今後、「EMV 3-Dセキュア」が義務化されることとなりますので早めの導入をお願いいたします。

導入費用

品名・摘要	金額
初期設定費用	無料
月額基本料	
ランニング費用	

EMV 3-Dセキュアとは、インターネット上でクレジットカード決済をより安全に行うために、国際ブランド（VISA、Mastercard、JCB、AMEX、DINERS）が推奨する本人認証サービスです。ブランド毎に名称は異なりますが、総称して「EMV 3-Dセキュア」と呼ばれています。

VISA SECURE	Mastercard ID Check	J/Secure	American Express SafeKey	ProtectBuy
				

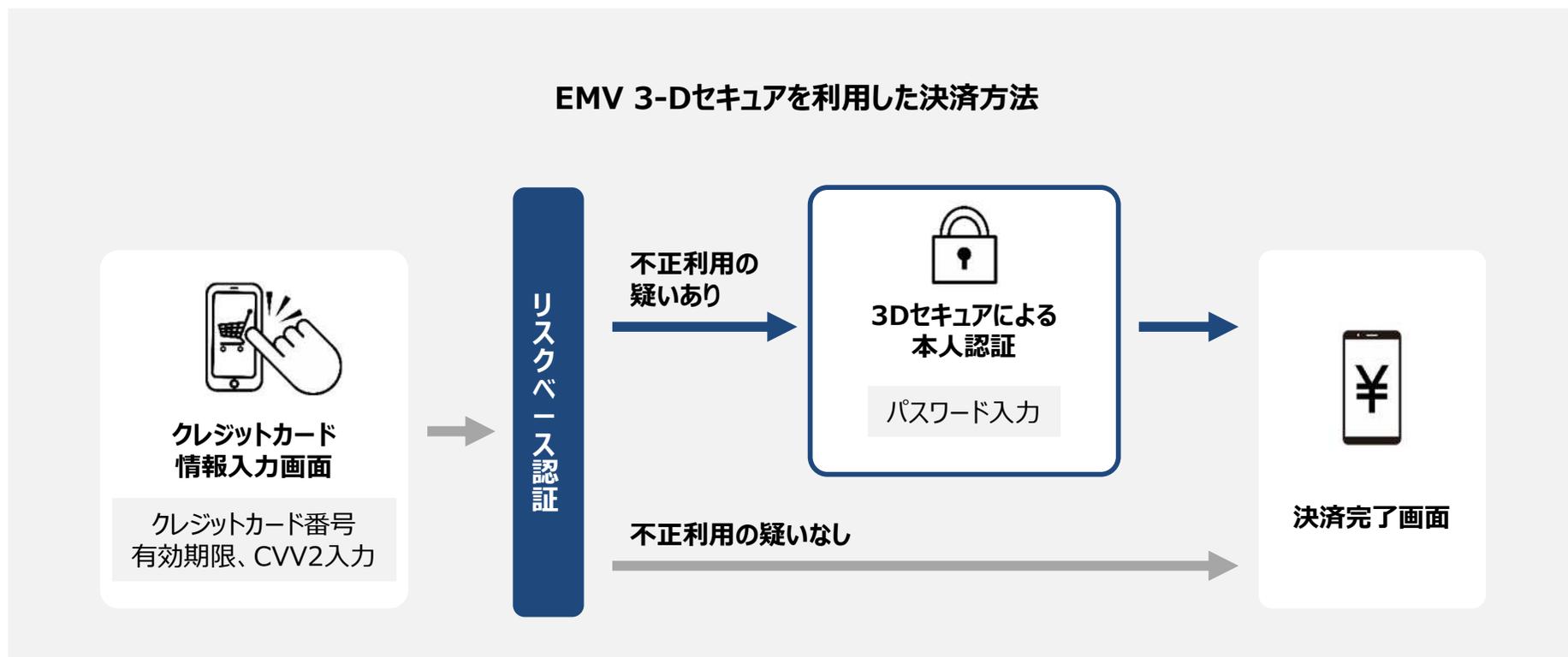
決済手続きの際にクレジットカード番号や有効期限の他にパスワード等の入力を促すことで、カード会員の本人確認を行い、安全に手続きを進めることができます。EMV 3-Dセキュアを利用した取引はチャージバックのリスクを軽減することができます。

【チャージバックとは】

カード保有者が不正利用などを理由に利用代金の支払に同意しない場合に、カード発行会社はその代金の売上を取消しすること

(参考：<https://www.housepayment.co.jp/service/card/chargeback/>)

EMV 3-Dセキュアでは、不正利用のリスクが高いと判定された場合にのみ、パスワードを入力する「リスクベース認証」を行います。パスワードはカード会社のWEBサイトで予め登録したパスワードや、ショートメールや専用アプリを用いたワンタイムパスワードなど、カード会社により入力する内容が異なります。



【リスク判定方法】

クレジットカードの利用履歴、利用デバイス、カード名義、商品の配送先住所、等の情報を利用し、総合的にリスクを判定します。

メリット

1. お客様に安心感を与えることができる。

リスクベース認証とワンタイムパスワード等による認証を行うため、不正利用者によるなりすましを回避でき、お客さまに安心感を与えることができます。

2. チャージバックリスクを抑えられる。

本人認証に成功した取引は、原則としてチャージバックの対象外となるため、加盟店様のチャージバックリスクを抑えることができます。

デメリット

1. カード発行会社により、事前登録が必要な場合がある。

一部のカード発行会社では、カード会員様の事前の利用申請が必要となるため、“カード決済ができない”という問い合わせが増える可能性があります。

2. チャージバックリスクはゼロではない。

不正利用が多発した場合は加盟店負担となる、などブランドにより保証の条件が異なります。（※JCBでは取扱高の8%以上が不正利用の場合、保証対象外）

<利用手順>

- (1) 決済案内時に3Dセキュアの利用有無を選択します。
 - ・お客様毎に利用する/しないを使い分けることができます。
 - ・ **3Dセキュアを利用しない場合、チャージバック保証の対象外となりますのでご注意ください。**
- (2) 3Dセキュアの利用状況は決済照会画面で確認することができます。

※ 3Dセキュアが原因で「決済できない」事象が発生することを考慮し、「利用する/しない」を選択式としています。選択式とせず全件3Dセキュアを適用したい場合は個別にご依頼ください。なお、2025年4月以降、「3Dセキュア」が義務化された場合は、選択式ではなく全件3Dセキュアの適用となりますのでご承知おきください。

決済案内画面

決済内容入力

※は必須項目です

担当者名	本店管理者
店舗名	試験加盟店（月1控除相対）
入居者名 ※	ペイメント太郎
決済名義人	
注意	入居者と決済名義人が異なる
建物名称・号室 ※	コーポペイメント101
入居時費用 ※	20000 円
3Dセキュア利用	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない 利用するを選択した場合、3Dセキュア2.0による認証を行います。
備考	

【決済案内時】
3Dセキュア「利用する/利用しない」を選択（デフォルトは「利用する」）

決済照会画面

決済情報			
受注ID	20000001S50223090500000200000	SID	S502230905000002
トラッキングID	00002795447554	決済区分	都度決済
マーチャントID	73547	サービスID	750
決済品目	入居	決済種別	入居のみ
決済総額	¥1,000	決済状態	決済完了
決済申込日	2023/09/05 11:21:33	アクセス日	2023/09/05 11:21:57
確定日	2023/09/05 11:23:24	取消日（返品日）	
売上返品者ID		売上返品者名	
付加情報			
ユーザーID	C000000002268766	決済案内言語区分	日本語
カードブランド	JCB		
有効期限	2027/01		
支払方法	一括		
エラーコード			
エラーメッセージ			
加盟店精算締日	2023/09/05	加盟店精算締日	
加盟店精算日	2023/09/11	加盟店返品精算日	
3Dセキュア区分	EMV 3-Dセキュア2.0	3Dセキュア認証	OK

【決済完了後】
3Dセキュアの利用状況は決済照会画面で確認可能

EMV 3-Dセキュアでは、リスクベース認証と呼ばれる仕組みが採用されており、消費者様が取引に使うデバイス情報（接続元IPアドレス、デバイスのOS、ブラウザの言語設定、バージョン情報等）や、取引情報（氏名、住所、Eメールアドレスなど）をカード会社に提供します。

加盟店様で必要な対応

上記データをカード発行会社に提供するため、加盟店様が個人情報取扱事業者として、法令および関連するガイドラインが定める基準に沿って、取引を行う必要があります。

具体的には、決済手続きを行う際に、個人情報の利用目的と第三者提供に関する表明を行い、消費者様の同意を取得したうえで、クレジットカード情報の入力画面へ遷移する等の対応が必要です。

システム連携方式を利用する加盟店様は、加盟店様サイトで個人情報の同意取得が必要です。

【参考2】日本クレジット協会 EMV 3-Dセキュア関連資料

<https://www.j-credit.or.jp/security/document/index.html>

弊社加盟店様に関しましては、システムを利用したメールリンク決済方式をとっており、お客様から以下の同意を取得してカード番号入力画面に遷移するため、加盟店様で実施いただく必要はありません。

当社がお客様から収集した以下の個人情報等は、カード発行会社が行う不正利用検知・防止のために、お客様が利用されているカード発行会社へ提供させていただきます。氏名、住所、電話番号、emailアドレス、インターネット利用環境に関する情報 等お客様が利用されているカード発行会社が外国にある場合、これらの情報は当該発行会社が所属する国に移転される場合があります。当社では、お客様から収集した情報からは、ご利用のカード発行会社及び当該会社が所在する国を特定することができないため、以下の個人情報保護措置に関する情報を把握して、ご提供することはできません。

- ・提供先が所在する外国の名称
- ・当該国の個人情報保護制度に関する情報
- ・発行会社の個人情報保護の措置

なお、個人情報保護委員会のホームページ（<https://www.ppc.go.jp/>）では、各国における個人情報保護制度に関する情報について掲載されています。お客様が未成年の場合、親権者または後見人の承諾を得た上で、本サービスを利用するものとします。

1. EMV 3-Dセキュアに対応していないクレジットカードは取扱できません。また、一部のカードはカード会社サイトでの事前登録が必要となります。
2. 対応端末はPC、スマートフォンです。フィーチャーフォンはご利用いただけません。
3. 3Dセキュア「利用しない」を選択した場合はチャージバック保証の対象外となります。
4. 継続課金取引はチャージバック保証の対象外となります。
5. チャージバック保証の対象は第三者による不正利用のみとなります。それ以外の理由によるチャージバックは保証対象外となります。
6. 本人認証の方法はカード会社により異なります。



決済代行サービス

ハウスペイメント

【お問い合わせ】
ハウスペイメント株式会社
TEL03-6718-9266
お問い合わせ専用E-Mail housepayment@kentakaku.co.jp
営業時間 10:00~18:00 (土日・祝日・夏期年末年始の休業日除く)